

映像配信社脱税容疑

国税告発 架空発注で3500万円

ホテルや病院に映画などを有料配信する映像配信サービス会社「ブリッジ・モーション・トゥモロー」

(東京)が約1億2千万円の所得を隠し、約3500万円を脱税したとして、東京国税局が同社と浅水博・元社長(52)を法人税法違反(脱税)の疑いで東京地検に告発したことが分かった。

元社長はNTT東日本の光通信回線「フレッツ光」の契約拡張事業をめくり、NTT東日本の社員に現金数千万円を提供した疑いが持たれており、東京地検特捜部が元社長とNTT

社員を日本電信電話株式会社(NTT)法違反(贈収賄)の疑いで捜査している。

関係者によると、元社長は2012年3月までの1年間に、契約拡張事業などを関連会社に発注したように装い、架空経費を計上する手口で法人所得を少なく見せかけたとされる。関連会社に振り込んだ金を引き出し、約2億円の資金を捻出していたという。

国税局はこの2億円のうち、元社長が知人に貸し付けた約4千万円や、貸金庫と預金にプールしていた約

4千万円など計約1億2千万円について、悪質な所得隠しと判断した模様だ。

また同社は、新規事業としてNTT東日本から契約拡張事業を約20億円で受注。元社長は受注の見返りに、事業を担当したNTT社員にキャッシュカードを提供し、社員は計数千万円

を引き出して私的な飲食などに使っていた。こうした資金に2億円の一部が充て

られたとみられ、賄賂の疑いが出ているという。

(村上潤治)